セックス・ファンタジー
4
SEX FANTASY
maco
原作 鏡遊
キャラクター原案 しおこんぶ
DL-Raw.Se

SEX
FANTASY
Cover Illustration
maco
Cover Design
Inako Yasushi[ERIDANUS]
DL-Raw.Se

maco
原作 鏡遊
キャラクター原案 しおこんぶ
セックス・ファンタジー
SEX FANTASY
4
DL-Raw.Se

CONTENTS

セックス・ファンタジー

SEX FANTASY

とにかくっ
その子は
ハーフエルフっ
グレシアの兵たちは
亜麻色の髪のハーフエルフを
密偵として送り込んだって！
第15話
……っ！
…おいおい
この部屋で刃傷沙汰は
勘弁だよ
みんな武器を
下ろしてくれ
DL-Raw.Se

グレシアはマスディニアでもアティナでも国教に定められている〝グレシア聖教〟の総本山！

戦乱を終わらせるためなら手段を選びません！

それくらいはさすがの俺でも知ってるけど…

グレシア聖教はメガレイシア大陸の大半の国で国教になっている

俺は宗教とは相性が悪いんで避けているけど…

あ　でも昔はグレシア聖教の神官に知り合いがいたっけな

油断しちゃだめ！シード様！早くその子から離れて！

…

イリヤ
キミは密偵なのか？

うん
あっさり認めるの!?
バレたらすぐに
話していいと言われた
尋問や拷問に
耐える必要ないって
拷問か…そういうのは
嫌いだなぁ
女の子とは気持ちよく
なることをしなきゃ
あなた様は
黙ってて!
わかってるの!?
密偵だってバレ
るってことは…
コレだよ!
イリヤは馬鹿だけど
それくらいはわかってる
でも…
うおぉ!!
DL-Raw.Se

イリヤ
そのメイド服はまさか
魔衣!?
ご主人様
意外と鋭い
でも
ちょっと違う…
落ち着いて魔衣…
イリヤはあなたの
力なんていらない
確かにイリヤは
魔衣に選ばれた
でも魔衣姫じゃない
ただ着るものが
なかったから
これを着てるだけ
ほつれないし
破れないし
着心地もいい

…魔衣に選ばれても
魔衣姫じゃない
そんなことあるんだな
魔衣の力があるから
密偵として送り込まれて
来たんじゃないのか？
送り込んだ人の意図は
そうかもしれないけど
イリヤはケンカは嫌い
イリヤを差別した
人たちは争って
ばかりだったから
イリヤも自分が密偵なんて
できると思ってない
失敗するってわかってた
シード殿
密偵だと認められては我々は
立場上イリヤを放置できません
ユンカも〝ハーフエルフ〟
じゃなくて〝イリヤ〟って
呼ぶようになったのか
…っ
そ それはっ
何度も一緒にあなたに…
だ 抱かれれば
名前で呼ぶように
なります
ですがっ
イリヤにはこの離宮を
隅々まで見られました！
ここから出すわけにはっ
まず言っておくが
俺はイリヤを殺す
つもりはないよ

シード様！姫様だってそれは許さないよ！
この子も覚悟の上だろうし忍びだって失敗したら死ぬことは受け入れてるんだよ！
エルフに捕まったときギャーギャー騒いでただろ
グレシアの企みなんて俺は知らない
でもイリヤはここが終着点だとは思ってないだろ
…終着点
スゥ…
進行度はこの数日で緩やかだが上昇して今はもう終わりに近い
そして難易度のほうはゼロ

まだ終わりじゃない
何か望みがあるんだろ？
それがなんなのか教えてほしい
……イリヤの望み
ぺたんっ
イリヤは離宮での生活が楽しかったんじゃないか？
もっとここでの暮らしを続けたいと　そう思ってるんじゃないか？
俺には真眼による裏打ちがある
進行度が上昇するのはいつも乱交の後だった
信じられないがイリヤはあれが好きだったんじゃないだろうか
DL-Raw.Se

イリヤはずっと一人だったから
あんなことでもみんなと一緒にできるのがうれしかった
まぁご主人様はたまにイリヤを放置したけど
その節は大変な失礼を…
別にリンたちは好きで乱交してるわけでは…
乱交を好むのはシード殿であって私たちは一人ずつでも…
いいやっ一人なら積極的にしたいというわけではっ
なんでもよかった一緒に何かできるなら
ああいうときは誰もイリヤをハーフエルフだって差別しない
DL-Raw.Se

イリヤはハーフエルフだけどそれはただの種族だ
ここじゃハーフエルフだろうと 俺みたいな怪しい奴だろうと誰も気にしない
…怪しいのはどうなのかなー
今さらですが私たちって頭は大丈夫なんでしょうか…
そういうことだからイリヤが楽しいことをやればいい
まぁメイドとして仕えてもらうけどついでに性交も！
うん
え？ いいの？どさくさで『うん』て言わないかなと思って言っただけなのに
あなたはイリヤに初めて楽しいと思わせてくれた
あなたを穢してしまうことになるから情交はだめ…だけど種族なんて関係ないって言ってくれたなら…

…あの子もたいがい
ちょろハーフエルフ
だねぇ
…リン殿
エルフがみんなチョロい
わけではないですよ
実はシード・ネーキスの
調査での最重要項目がある
おお 仕事熱心だな
まだ密偵を続けるのか
魔衣姫を堕とした
手段について調べる
ように言われてる
もう
わかってるけど
〝実演〟して
もらいたい
…ああ
バレてるんじゃ
仕方ない
もっと具体的に
教えようか
ゴゴ

んっ
んむっ
ちゅっ
んんん…っ
んっ 舌…入ってきてる…
んむっ
ちゅ
ぬちゅっ
むぎゅっ
うーん
いい尻だなぁ
プルプル
柔らかいっ
ググッ
あっんっ
ああ お尻…
だめ…んっ

んっ…ちょっと怖いかも
大丈夫 俺は初めての子には優しいから
甘ぁ
わっ…
ポロンッ
んっあっ ふあ…んっ
乳首…そんなにっ だめ…ちゅうちゅうしたら…
ちゃぱっ
わっあ… そんなとこ吸うの？
ちゅーっ
いやでも めっちゃ美味いし うーん イリヤのおっぱい可愛い
くりっ
ちゅーっ
あっんっんんー
あっ
あっ おっぱい… やんっ そんなとこ いじったら…あっ ああっ 乳首だめぇ…
ごろっ
やっ あっ そこは…んっ ああっ…変な感じ…ああっ
クチュッ

ああっ…！
んっんんっ…　んんーっ！
ゾクッ
ゾクッ
処女にしちゃ
ずいぶん感度が
いいなぁ
あっ
んっ
あ　あなたが…イリヤに
いろんなことしたから…
あんなことされたら
身体が反応する
ようになる
…で　でも待って
イリヤはメイド
ん？
ご奉仕しないと
はぁっ
んっ
……こ　こう？
んっちゅっ
おっ…！
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ぎゅっ
ゴリ
ゴリ
DL-Raw.Se

あぁと…こうする…
ユンカさんとか
よくやってたた
んっ
んむむっ
硬い…こんなに
おっきいの…
口に入りきらない…
んちゅっんっむっ…
あむっ んっはむっ
んっんちゅっ
小さな口の中で
俺のモノを…
い イリヤ…
うおっ…！
！
んっんむむ…
んんんっ…！
んんんんん…
ふぁ…
んっ 変な味…
お おい 無理に
飲まなくても…
DL-Raw.Se

ムぅ
ムぅ
ふーーっ
ふーーっ
イリヤーー！
バッ
きゃっ
…もう我慢できない
イリヤいいか？
んっ でも
イリヤだけでいいの？
イリヤは
待てる
…やっぱとんでもない
こと言ってるよ
あのハーフエルフ！
んっ
いや 俺が待てない
今はイリヤだけを
抱きたいんだ
むっ…
いつものことだけど
すごく素直…

ご主人様…
イリヤの身体をもっと使って情交して
……っ!
くっ…!
んんっ…!
は入ってきてる…!
かなり狭いっ
モノがなかなか入っていかないいっ
はうっ…
あっ…ううううっ
んっ…
おっきいのが…
イリヤの中広げてる!
ずぷっ
ずぷぷ…

あうっ んっ
イィリヤの中…
ご主人様のでいっぱい…！
ずぷっ
ずぷぷぷっ
ぐうっ…
これは…
ヤバいっ
この締め付けは
強烈だっ
モノを絞り上げて
くるかのようだ！
うっ イリヤ
ちょ ちょっと…
一回出すぞ…！
え…？
ドプンッ
ふぇ
ふぇぇ…？
ドプッ
ドプッ

我慢できなくて出しちゃったよ
はーっ
メチャクチャ気持ちいい ここまで痺れる快感は そうそう味わえない
イ イリヤ処女だったのに…いきなり中に出しちゃうの… い いいっ
はぁっ
はぁっ
さす
さす
さす
ああ ごめん ごめん まだ動いてもないのにな それじゃ続きを
えっ…そ そんな続けてヤるの？ あっ ふあっ ああっ…
俺が一回で収まらないのは知ってるだろ
んっ あっ 痛っ あっ 痛いっ
ズプッ
でも…あっ おっきいのが… イリヤの中いっぱいにして…あっ
あっ 先っぽが奥グリグリしてるのが…い いいいっ
ズチャ
ズチュ
ズプッ

初めてなのに
もう気持ちよくなり
始めてるみたいだ
んっ
んんっ
ふっ
あっ んんっ…
お…奥に
コツコツ当たって…
あっ あっ
ご主人様イリヤの…
イリヤの身体 気持ちいい…？
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ
ズプ
ズプ
ズプ
ズプ
ああ 最高だ…
またすぐ
出ちゃいそうだ…
ふぁっ よかった…
イリヤの身体いいんだ…
あっ んっ
イリヤだけ気持ちよく
なるの嫌だから…
ご主人様
もっとよくなって…！
あんっ 頭とろける…
ご主人様
イリヤ 何か…
来る来ちゃう…！
くっ
俺ももう…！
ちゅっ
んっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ

んっ あっ
ああっ あんっ
あっ 大きいの
イリヤの中ぐちゃぐちゃに
かき回してるっ
もうだめ…
そんなにエッチに
されたらもうだめ！
イリヤ…！
あ あああ
ま また出てる…っ
中で出されてる！

んっ あっ
ああっ ご主人様の
全部 イリヤの奥に
どびゅどびゅ出して…！
ガクガク
…はぁ
…はぁ
ああ これは
本当にすごい
イリヤのが まだ俺の
モノを締め付けてるっ
二回目…
ううん
三回目？ する…？
はぁっ♡
はぁ♡
もちろん
する

ああでも…
イリヤはユンカたちと
一緒にヤりたいか？
…イリヤ 前に聞いた
伝説の五十二人大乱交…
イリヤも
参加したかった
な なんて
物好きな…！
あのすさまじい光景
リンは一生忘れない
気がするよ…
いや やっぱりダメだ
もうちょっと
イリヤを抱きたい
んっ
レロ
はむ♡
DL-Raw.Se

イリヤ
痛かっただろ？
無茶してごめんな？
んーん みんなと一緒も
いいけど ご主人様が
いればイリヤは
一人じゃないから
だから
よかった…
そうか
ちゅっ
ちゅっ
…なんか
イリヤにだけ妙に
優しくないか？
シード殿は
この小さくて可愛い
ハーフエルフの身体
ズブッ
ズブッ
ズブッ
しばらく徹底的に
楽しませてもらおう

ガラガラ
ダッ
ダッ
…はあ
どうしたんだ
リーシャ
えらいため息だな
…ため息も
つきたくなります
今さらですが
なんなんですか
この状況は
それは俺もいまいち
よくわかってないが

ご主人様
イリヤも未だによくわかってない
…よくわからない
ハーフエルフのメイドが
増えてるくらいは
別にいいです
私の前でキス
しようが ぜんぜん
気にしませんとも
ちゅっ
んっ
ちゅっ
あなたのことですから
離宮に満足できず
あちこちから連れ込む
と思ってましたから
なんだそれ
やってよかったのか？
よくありません！
まだあなたをどう扱うか
ラクシアルも
ルフィアも
決めかねてるんですから
ああっ
そうじゃなくて！
まぁ
悩んでも
仕方ない
んっ
もう引き返せ
ないだろ

俺たちは
グレシアに向かってるんだ
ガラ
ガラ

S E X
F A N T A S Y

第16話
グレシアは大陸の大半の国が国教としている
〝グレシア聖教〟の総本山
大陸最大の宗教の権威と象徴を担っている国だ
グレシア
そんな国グレシアから
三人の魔衣姫リーシャ ラクシアル ルフィア宛に手紙が届き
マスディア帝国
「南方地域の戦乱を未然に防ぎ平和的同盟に貢献した功績」とやらで〝位階〟が与えられることが書かれていた
…そして
エルフ部族連合
アティラ
グレシアの首都である〝聖都〟へと招待され
ガラ
ガラ
ガラ
ガラ
向かっている最中なんだが…
位階を頂くのはいいんですが

普通わざわざグレシアまで行かないものなんですよ
私の父も位階を持っていますけど聖都には行ったことないそうですし
はっはっはっこりゃ確実に何か企んでるな
密偵を送り込んでくるような国だから…
その密偵と一緒っていうのはどうなんですかっ
というか本当に大丈夫なんですかそのハーフエルフは！
イリヤ…でしたっけ？
あなたの潜入と今回の招待…グレシアは何を企んでるんですか？
謎は深まるばかり…
すりすり
イチャ
イチャ

他人事みたいに言わないでください！
ああっ シードに続いてまた面倒な人が現れましたね！
…アリーシャ姫はお姫様なのにハーフエルフをなんとも思ってない？
差別などしません あなたは私の家臣ではありませんしね
それなら何も問題ない 今のイリヤはご主人様のメイドだから情交もできる
んーちゅー
…なんだかイライラします
ただでさえ私だけグレシアに行くのも気が進まないのに
しょうがないだろ ラクシアルもルフィアも忙しいみたいだしな
人間嫌いを説得するのが…
アティナに潜入してたから仕事がたまってるのよ
私だって暇ではないですよ！

父上が
復帰されたとはいえ
本調子ではないですし
だからって
魔衣姫が誰も顔を出さない
のもまずいんだろ？
そうですね…
グレシアが
動員できる兵力は
せいぜい三千程度
マスディニアと
比べれば
小国ですが……
マスディニアの民も
ほとんどが
グレシア聖教の
信者だもんな
…アティナは
言うまでもないですね
軍事力でも勝てるかどうか
じゃあ やっぱり
リーシャは行った
ほうがいいな
ええ
私はまだいいんですが…
最大の問題はあなたです
シード
ん
え？
俺に何の問題が？
自分が人畜無害みたいに
言わないでください！
あなたにも
見せたでしょう？
グレシアからの書状を！
一応俺も
文字くらい
読めるからな

魔衣姫に位階授与のための招待が来るのはわかります
ですがっ私宛の書状に『第一王女直属書記官シード・ネーキスの同伴を許可する』なんて書いてあるのは
あからさまにおかしいんですよ！
許可されないよりは都合がよくないか？
時と場合によります！ラクシアルとルフィアに送られた書状には書かれてませんでした
位階授与なんて口実で
グレシアの本当の狙いはシードですよ！

そうはいっても
わざわざ書いて
あるんだから
俺が行かないわけにも
いかないだろ?
ただの書記官が
忙しいんで…なんて
……
連れていくしかないのは
わかってるんですが
嫌な
予感しかしません
リーシャはえらく
心配性だな
俺も監禁されたり
狙われたりで 自分の立場も
少しは心得てるけど
ただ 今のままでは
グレシアの狙いが
はっきりしません
ハーフエルフも
リンが捕らえた
グレシアの軍人も
多くは知らないようですし…
ま
なんとかなるさ
正式な招待ってことは
いきなり荒っぽい
こともしないだろう

骨休みの旅だと思えばいいじゃないか？危険もなさそうだし
何をしてるんですか？
はっ!?
…ところでシードあなた
驚いたふりをしないでください！
何を当たり前にスカートをめくってるんですか!?
ああ ついに突っ込まれてしまったか
真面目な話は疲れるから癒しを求めただけなのに…
でももう一か月近くリーシャとやってないしもう我慢の限界なんだよ
すっ
こんな近くでエロい匂いを振りまかれたら誘ってると思っていいよな？

いいわけありません！
エロい匂いなんてっ…
あんっ
こらぁっ
だっだいたいっ
私がシードにだ抱かれたのは…
魔衣姫を本当に屈服させられるか確認するためですよ！
これ以上…っする必要なんて…っ
でも俺はリーシャを愛してるから
キリッ
…そそれならしょうがないですね
ドキドキ
い一回だけですよ？
チョロい…イリヤなんて身持ちが固すぎるくらいだった
きゃっ
あんっ
そんなところ舐めっ…
ぐちゅ
あふっ
んっ
やんっ

あんっ
こ ここの声って
漏れてないい…っ
んですよね？
あっ
あっ
ああ
リーシャの可愛い声を
聞いてるのは
俺とイリヤだけだよ
ガラ
ガラ
は はあっ
そ それなら…
もう…ください
はあっ
ぶっ
わ 私だって
一か月も…
我慢したんですよ
グイッ
あなたに散々
ココを使われて…
もう あなたなしでは
うずいちゃう身体に
なったんですから
…
それじゃ…
行くぞ
グッ
ムクッ

あっ…！
は 入ってきた…
ズプ
ドプ
こ これ…っ
これが欲しかったんです
シードの硬くておっきいの…
ズプ
ズプ
あんっあっ
すごいの…っ！
前から一度車内性交をしてみたかったんだよなぁー
パチュ
パチュ
パチュ
あなた馬鹿な夢を持つのやめませんか！
ああっ本当にクズなんですから…っ
パチュ
興奮してますねっ大きいっ
パチュッ
はうっ
はぁんっ
私の中シードのでいっぱいになってます…っ！
ズプ
あっ
あっ
もっと来てっ
ズプ
ズプ
あなたの大きいので私の感じるところ全部突いて…！

自分から
腰を振ってて
ズチュッ
ズチュッ
もっと
もっと!
…奥へっ
奥に来てっ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
かき回してて
シードのっ奥にっ…
ズチュ
あんっ
あっ
はうっ
深いところまで
届いてますっ
ふぁんっ
一番感じちゃうところにっ
コンコン当たってる…っ!
あっ
あんっ
わたしっ
もうっ…!
パチュ
くっ
リーシャ…
俺も…もうっ!
パチュ
パチュッ
ビクッ
ビクッ

あ ああ……
久しぶりの
シードの……
ぜ 全部
私の中に注いで
…んっ
んっ まだ出てる…
いっぱい…ああ…っ
すげー
気持ちよかったー
リーシャは
やっぱ最高だな

ご主人様…
んーんむ
んちゅっ
あっ ハーフエルフ!
そ それは私の役目ですよ!
んっ んむむ…
はうっ
まだこぼれてきてます…
んん…
相変わらず変な味です
ちゅぷっ
ご主人様は今日も元気…
んっんん…
んちゅっ
ちゅっ
ん…
じゅぷじゅぷ
じゅぷっ
それじゃ次はどっちにしようかな
イリヤも見せてくれ
DL-Raw.Se

ん…はい
ご主人様…
そ その子も
すっかり調教
完了ですね…
ん…っ
くぱっ

どっちかに決めるなんてことはないいか
交互に入れてこうかな！
ぜ贅沢な人ですねっ
本当にやる気ですか…もうっ
あんっ
はうっ
んんっ
イリヤの中まだご主人様の大きさに慣れてないから…
キスもっお願いっ
ほかの車両にいるユンカとかも呼んで
聖都に着くまで十日間たっぷりヤリまくろう
ちゅっ
ちゅっ
じゅぷっ
がう
がう
がら

グレシア首都
聖都
ふーん
これが聖都か
噂には聞いてたけど
でかい街だな
なんか階段が
多くないか？
…聖都は階段の街
昔 グレシア聖教の神々は
天から降りる光の階段を
通って地上に降臨したって
いう伝説があって
階段は聖教の
シンボルでもある
詳しいな…
そうかイリヤは
この街から
来たんだもんな
…密偵として
ですけどね

イリヤが聖都にいたのは一年くらい
街外れにある小さな神殿で下働きしてて
街中に出たことなんてほとんどない
なんだ せっかくの楽しそうな街なのに
おーけっこう可愛い子がいるぞ
二三人引っかけてきていいか？
いいわけないでしょう！
だいたい…竜車の中で散々…
聖都に向かう道中特にリーシャは可愛がったからな…
カァ〜
うーむ恥ずかしがるリーシャ可愛い
アリーシャ姫なんかムラムラしてきたからちょっと竜車に戻ろうか
戻りませんよもうグレシアの神官さんたちもいるんですから！
申し訳ありませんアリーシャ殿下
我らの聖都は階段の街竜車での移動は困難ですので
我ら神官がご案内致します
！

あ いえ
私は田舎者ですが
聖都のことは
存じ上げていますので
ギッ
ご主人様
いけない
ここ 冗談通じない
アリーシャ姫みたいに
チョロくない
私の悪口は
ともかくくっ
シード
余計なことは
しないでください
ちぇ
さすがに
お見通しか…

あれは…？
グレシアの軍隊…か？
オ オーギュスト殿！どういうことですか！
さて なんのことかな？
神官殿
神にお仕えする身で
そのような狼狽した姿を
往来で見せるものでは
ありませんぞ

アティナの王女殿下のお通りを妨げるとは！
聖騎士団の皆様には一帯の封鎖をお願いしていたはず！
ご存じなかったかな我らは西方で農民どもの一揆を鎮圧してまいった
大神殿の猊下も我らの帰還を心待ちにされていることだろう
ですが
美しさで世に名高いアティナの王女殿下にお会いできたのも何かの縁
ああ これは馬上より失礼を
ザッ
拙者はグレシア正規軍聖騎士団で団長を務めております
オーギュスト・カペーティと申します
DL-Raw.Se

アティナ王国
第一王位継承者
アリーシャです
武勇の誉れ高い
オーギュスト殿に
お会いできて
光栄でございます
おお
リーシャが
姫っぽい
ふふふ
噂に聞いていた
通りのお美しさ
ニヤ
ニヤ
お連れは
マスディニアと
エルフ部族連合の
使者の方々ですかな
お話は
聞いております
南方の噂は
このグレシアにも
届いております
戦乱を未然に防ぎ
なおかつ三国が
同盟を結ばれたとか
民を苦しませる
戦など本来起きては
ならないもの
アリーシャ殿下
あなたの選択は
神々も賞賛なさる
ことでしょう

ええ
魔衣姫の
望みは戦乱を
終わらせること
それには
戦い以外の選択肢が
あることに私
そしてエルフと
マスディニアの姫たちも
ようやく気づいたのです
素晴らしいことです
殿下はいったい
どのような手段で
あの恐ろしい
マスディニアの天姫
いや
エルソフィア殿下に
矛を収めさせたのか
不思議でならぬほどです

…ただの
外交手段ですよ
聖騎士団長殿に
お話しするほどの
ことでもありません
左様ですか
エルソフィア殿下の武名は
この地まで鳴り響いて
おりますからな
武人としては
気になるところで
不躾な質問を
申し訳ない
このオーギュストって
おっさん…
ルフィアの名前を
出したとたん
急に敵意がむき出しに
なったな
一瞬 剣を
抜くかと思った
おお
申し訳ありませんが
先を急ぎます
マスディニアと
エルフ部族連合の
レディたちも
お会いできて光栄でした
これにて

……し
失礼しました
彼らは戦の帰りで
気が立っている
ようでして
あれが
精強にして清廉なる
聖騎士団ですか
お気になさらずに
ふーん
戦帰りって割には
綺麗なもんだったな
シード！
申し訳ありません
こちらの書記官には
言い聞かせて
おきますので
い
いいいえ
農民一揆の
鎮圧？
大方 食うに困って
税の免除を申し出た
農民たちを何人か
殺したんだろう
免除など
ありえないってことを
知らしめるための処置だ
よくあることだけど
嫌なもんだな
グレシア総本山と
いっても ほかの国と
政治の手口は
変わらないってわけか
しかし
もう一つ気になる
こともあったな

イリヤ 神官と聖騎士団っていうのは仲が悪いのか？
ん そうらしい 最近は聖騎士団がうるさいって神殿でも聞いた
うるさいっていうのは聖騎士が政治にまで口を出してるってことか？
たぶん
聖騎士団が軍事力だけじゃなく
政治権力も欲しがってるってわけか
面倒くさいことにならなきゃいいなぁ
DL-Raw.Se

おおっ…！
おおお
これは…！
思ってた
以上だ！
おおっ

いいですかシード
ここまでの道中で
私が言ったことは
覚えてますすね？
俺のがすご
そこではなくっ！
そういえば
何か言ってたなぁ
宗教国家
グレシアの中枢
大神殿
そこにいるのは
グレシア聖教の
最高司祭である存在
巫姫と呼ばれる
王にして
神意の象徴である者
この世で最も
清らかなる乙女である
巫姫に仕える者たちもまた
清らかな乙女で
なくてはならない
世界各地の
グレシア聖教の
神殿で選りすぐ
られた子たちだ

わかってるよ　大聖堂の子たちには手を出すなだろ？
下手すると外交問題にもなりかねないって
わかってるならいいんです…
本当にわかってますよね？
疑り深いお姫様だ…
本殿は基本的に男子禁制らしい
白金の鎧の連中がいないところを見ると聖騎士たちも本殿には入れないんだろう
入れるのは高位の聖職者か
今回の俺みたいな立場の者くらいか
DL-Raw.Se

はぁ…
本殿でお部屋を
用意してくださる
そうなので
コッコッ
今日のところは休息して
明日 巫姫猊下に
お会いできることに
なっています
いいですか
猊下にはくれぐれも
失礼のないように
コッ
明日は歓迎の宴も
あるそうなので
って
いないっ!?

S E X
F A N T A S Y

シードー!!
どこですかっ
～…
ん？
リーシャが
騒いでるな
悪いがせっかく
めったに入れない
大神殿の本殿に
来たんだ
自由に動きたい
じゃないか
本殿は
アティナ王宮よりも
広そうだ
おまけに
迷路のように
入り組んでいて
今の俺には
好都合だ
第17話
えーと
神官たちの
個室と風呂は
どこかなぁ
最後までいかなければ
いいわけだから
覗きくらいなら
えっ
あの…
どなたですか？
!

失礼ですが
こちらは男性の
立ち入りは禁止
されているのですが
カチャッ
ここは神官たちが
警備も担当してる
ってわけか
俺の返答次第では
すぐにでも
斬りかかって
来そうな雰囲気だ
ああ キミたちも
聞いてるんじゃ
ないか？
アティナからの
使者の一人だよ
…なぜ
お一人で？
案内の者が
いるはず
なのですが

ただの迷子だよ
ちょっとよそ見をしてたらはぐれてな
アリーシャ殿下たちに置いてけぼりにされて困ってたところだよ
………
……あ
そうでしたか
こちらこそ不手際があったようで申し訳ありません
いや
気にしないで
自分で戻れるから
……はい

外法の技の一つ
魔響幻聴
スタ
スタ
魔性幻惑の弱体版ともいうが
まぁ 簡単にいうと大嘘を信じさせる技だ
女の子をあちこちで堕としていると騒動が起きることもある
そんなとき一時しのぎで使う
我ながらロクでもない技だな…
そう何度もごまかせないかもな
ささっと着替えか入浴を覗かないと

魔響幻聴の効果は
強力じゃない
早く遊べそうな子を
…うーん
やっぱり本殿を
出たほうがいいかな
外にも
神官たちは…
おおっと
……
さっ

おー これはいい
青と白の
ストライプか
コッ
コッ
めったに
見かけないけど
実は俺の大好物
清楚な神官は
白もいいけど
縞もよく似合う
ややト小ぶりな
お尻も
可愛らしい
スタ
素晴らしい尻だ
あっ
スカ
ちぇっ
もうちょっと
見物させて
ほしかったのに
ゴトッ
きゃっ

ズデーン
ドタッ
いっ痛た……
うー
ぐっしょい…
痛いよ…
あたっ 冷たっ
もうー
またやっちゃった
おのれ花瓶めー
ボクになんの
恨みがあって
こんなこと
するのかな
……
花瓶に
八つ当たり
している…
っていうか
この子
メチャクチャに
可愛い…！
ああ 冷たい…
こんなの着て
られないよ！

んっ…しょ
がばっ
おおっ美乳っ
美乳だ！
ぷるんっ
本殿の神官は美人ぞろいとはいえここまで可愛い子が普通にいるのか？
魔衣姫たちに勝るとも劣らない美貌に美乳
それに縞パンツ
あ 痛っ
ラー 手が切れちゃってる……
！

おっと 女の子がケガしたとなったらぼーっと見ているわけにはいかないいな
…?
…ううん大丈夫だよ
このくらいの傷なんともないってば
いつものアレな感じ転んで床に手を付いたときにちょっと切れただけ
…なんだ? 床とお話ししてる? この子
ちゃんと着替えるから大丈夫 風邪なんてひいたら叱られるしね
うん それじゃあまた お姉さま
独り言…って感じでもないいな
…ところで

あなたはどこのどなたなのかな？
うおっ
気づかれたみたいだ
目を合わせるとますます彼女がとんでもない美少女だとわかる
こっ これは
これはもうっっ！
……っ!?
がばっ
この子俺んちの子にする！

おおっ
思った以上に
抱き心地も最高!
ムギュッ
形のいい
おっぱいが
すっごく柔らかい!
…えーっと
あなたが
何を言ってるのか
わからないけど
本殿の神官…
御子は常に穢れなき身で
いないといけないので
だっこはちょっと
だっこって
……
このズレたところも
可愛い!
変にズレたところも
好感触!
もちろん御子に
手を出しちゃいけない
ってのは覚えてる
そんなことして
戦争になったり
したら大変だ
ただ
まぁ
一人だけなら
いいんじゃないかと
思うんだよ
何を言ってるのか
やっぱり
わからないけど

これはなかったことにしておくから
あなたも大人しく戻ったほうがいいよ
ぐいっ
戻るけどキミを連れて戻りたい
その前にどこか無人の部屋とかないかな できればベッド付きで
…変な人
おおおおっ笑顔も可愛い！
あなたの目でボクを見てみたらどうかな？

目？
それってまさか…
真眼発動
スゥ…
ポワ…
ポワッ
攻略難易度0？
攻略ルート進行度完了!?

んん!?
初対面で
なんだこの数字
こんなの
見たことが…
それでは失礼
!?
な…
なんだ?
魔法か?

なんてことだ
真眼で見た数値の
異常さに気を取られて
あっさり逃げられてしまった
…というか
真眼のことを
知ってたのか
あの子……
あれ？
ひょいっ
いろんな意味で
不思議な子だなぁ

結局
迷いに迷ってしまい
合流したリーシャには
えらく怒られた
ユンカやキュオまで
一緒になって
叱りつけてきて
なんだか俺の中で
嗜虐に喜ぶ性癖の扉が
開きそうだった
開いてないけど
あなたは巫姫猊下との
面会は禁止です！
ちょっと油断してました
あなたは何をするか
わかりません！

と　お怒りの姫君の仰せなので逆らえない
スリ
スリ
これ以上逆らったらしばらく性交させてくれないかもしれない
それは困る
一応俺も巫姫から名指しで招待された身だから謁見のときにはいないとまずいんだが
いないほうがまだマシと判断されたわけだ
…ダメ
ダメですってばぁっ
いいから話の続きを聞かせてほしい
んっはぁっ
ビクッ
グチュ
グチュ

この子はラナ
夕食を運んできた御子が可愛かったから
おおっ ぐちょぐちょだな
食事の前に軽く味見しとこうと思って魔性幻惑を使ったらあっさり陥落
御子を堕としていいか迷ったが一人くらい誤魔化せるだろ
真眼も使ってみたが数値に異常はない
んっ
あっ
御子が特殊なのかと思ったが特殊なのはさっきの赤毛の御子だけか？
み 御子についてでした…ね
あんっ ダッ ダメなのにぃ
ふぁんっ
指ぃっ…ズボズボしちゃ…
みっ 御子は神官の中でも本殿で巫姫様にお仕えする者たちで
ほっ ほとんどが十代か二十代の女の子っ…
え 情交はダメなんですぅ
はっ
はぁっ

うん
そこまでは
わかってる
どう考えても
お堅い宗教と
クズの俺とか
相性よくない
しなぁ
グチュ
グチュ
ビクッ
ビクッ
んっ
ああっ
私の奥が
きゅううって
なってるぅ…
…あああああああああっ！
はっはぁ…
えっ えっと…
ごっ
ごめんなさい…
なんだ
そんなことも
知ってるのか
…わ 私たち御子は
嫁入りする前に…
お姉さまたちから
教えていただくんですぅ
ムギュッ
ニュコ
ニュコ
情交はダメですから
その…これで許して
くださぁい
お？
ゴソ

お姉さまって
姉妹がいるのか？
ぁ 違いますぅ
御子たちは
血の繋がりは
なくても みんな
姉妹なんですぅ
そういう
ことか
ミミコ
ミミコ
五人姉妹のときも
めっちゃ
興奮したのに…
なんだかエロい
嫁入りしても
私たちはみんな
姉妹なんですぅ…
嫁入りねぇ
おお
こすこすとモノを
こする動きが
気持ちいい
手つきがぎこちなくて
モノを持て余してる
感じがまたいい
こんな可愛い
処女の御子が
俺のモノを手で
してくれるなんて
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
御子は…
結婚の日まで
男性と会わない子が
ほとんどですからぁ
ぱぁっ
はぁっ

結婚しても
そういうことは
怖くてできない子が
多くて…
はぁ♡
はぁ♡
けっこう
大変なんだな
御子って
!
だ だからぁ
別の方法で殿方を
お鎮めするために…
習うんですぅ
あ…
ボワン
ドキ
ドキ
ん…んちゅっ
本当にするのは…
は 初めてですぅ
こ こんなこと…
さっき会ったばかりの
人にするなんてぇ…
ちゅぱっ
んちゅっ

魔性幻惑がかかっているんだから当然だが
んんっ んむっ
くちゅ くちゅ
とはいえちょっとあっさり踏み込んできすぎだとは思う
エルフ姫兵隊だって魔衣姫の指示を受けたからこそ簡単に身体を許してくれたわけで
んっ こんなおっきいなんてぇ
じっ
んじっ
主の指示もないのにずいぶんと大胆なことをしてくれるもんだ
お口に入りきりません
んぐっ んんっ
う…おっ
悪い出るぞ
はっ はい…！
びゅくっ
んんーっ んむむ…！
びゅくっ
はうっ んっ これが精液…！

でも知らない相手にずいぶん気を使うんだなお偉いさんに嫁ぐことになってるのか？
はっ
なまっ
はっ はぁい… んっ
そ そうです
え？ あっ
やぁんっ…！
ぽよんっ
えっ こ こんな ことまで…
やんっ む 胸でこんな いやらしい こと…
ドキ
それで？
ドキ
ええっと… 御子は基本的に 聖騎士様か…
その関係者に 嫁ぐことに なってるんですぅ
DL-Raw.Se

聖騎士かー
なんかどうもあいつら欲求不満って感じに見えたんだよな
うちのお姫様やメイドを見て興奮している奴らもいたぞ
飢えた男って感じで
じゅぷっ
あ おっぱいでもっと強く挟んでくれ
は はぁい…んっ…んんっ
じゅぷ
じゅぷ
こ こうですかぁ…はうっ 大きいのがビクビクしてますぅ
その…飢えてるとかそんなことはないかとぉ
だから飢えてるんじゃないのかなあ
ぐり
ぐり
んっ
聖騎士様も結婚するまではその…き 清らかな身体でいる方々ですからぁ
っと…二発目出るぞ！
んっ

んんっ…！ はぅ
私のおっぱい
白いドロドロで
穢されちゃってますぅ
ぴゅるるっ
欲求不満なのは
聖騎士だけじゃ
ないのかもな
それでラナは
どうして聖騎士に
嫁入りするのが
嫌なんだ？
…っ
そ そんなことは
ないですよぅ…
聖騎士様との
結婚は御子にとって
名誉ですからぁ
……
真眼で見たところ
聖騎士の話を
持ち出した途端に
攻略難度が下がった
聖騎士の話を
するよりは
俺とエロいことを
するほうがいい
そういう反応だ
ポワッ
ドキ
ドキ

たただ…
私たち御子は… あんっ
御子は前の身分に関係なく
“巫姫様の妹”という身分になるんですぅ
クリクリ
ででですからぁ
その…聖騎士様にとっては自分もっ
巫姫様のお身内になるということでしてぇ
グギュ
グギュ
グギュ
実は私ももうお相手が決まっていてぇ
あーわかった
要するに聖騎士との結婚は“政略結婚”ってことだ
出世の足がかりもできて御子は美女ばかり
聖騎士の男たちにとっちゃ二度おいしいってわけだ
ビクッ
ビクッ
でもそこに愛はない
愛がない性交をするとは俺以上のクズなんてどこにでもいるんだな
ふぇ？
クリ
クリ
あっ
んっ

聖騎士って
巫姫を守るのが
役目なんだろ？
ビク ビク
んっ
権力を欲しがる
奴らに任せて
大丈夫なのか？
んんっ
聖騎士様はその…
大神殿で政治の中枢に
関われているのは
みんな女性で
男が関われるのは
軍事だけで権力には
限界があるってことだな
ぐちょ
ぐちょ
たぶん
聖騎士と御子との
関係はよろしくない
ふーっ
ふーっ
そんな両者の
関係なんて 幸せな
未来が待っている
とは思えない
あ あのここまでですぅ
…もし結婚して私が
しょ 処女じゃ
ないってことに
なったら
わかってるよ
大丈夫
処女じゃないってバレたら
その聖騎士が
ラナに何をするか
わかったもんじゃない

うーん
このまま放っては
おけないけど
どうしたもんか
な なんですかぁ…
んっ
んむむっ…？
ちゅう
こんな可愛い
御子たちを
権力のことしか
考えてない連中には
渡したくないなぁ
くちゅ
くちゅ
私の初キス…
う 奪われちゃい
ましたけど
大丈夫でしょうかぁ
はぁ♡
んっ
今さらキスを
気にするのか

このちょっとズレたところがいい
胸も口も気持ちよかったし
うず
うず
何より献身的なところがいい
神でも巫姫(サイネス)でもなく俺に身を捧げてくれないかなぁ
はぁ♡
はぁ♡
ダ ダメなんですよぅ
…純潔だけは結婚まではぁ
!?
んっ 痛っ!

お おい!?
いっ 痛ぁい
お お話に聞いてた
よりずっとすごくて…
…んっ
こ こんな大きいなんて
あんっ
ラ ラナ…いいのか
俺はめっちゃ
気持ちいいから
うれしいけど
もう完全に膜を
破っちゃってるぞ
入れるのだけは
我慢しようと
してたのに
はぁ♡
俺が硬く
しちゃってた
せいもあるのか!?
ん♡
ひゃっ ひゃぁあんっ
んっ んんっ
…つ ついてるっ
突かれてるっ
ズプ
でも入っちゃったもんは
しょうがないから
味わわせてもらおう
ズプ
ズプ
ズプ

はうっ
んっ
硬いのが…っ
んっ…
私の奥までぇ…！
ああんっ
大きすぎて…
お腹まで
届いちゃってる
みたいっ
ずぽっ
ずぽっ
はっ あんっ
声出ちゃいますっ！
ずぽっ
ビクビクッ
んんっは はあうっ
んっ…出されてる
私初めてだったのに
中で出され
ちゃってますぅ！
うおお…
すげぇ…
絞り上げ
られてる…！

今さら中出ししておいてだけど
…なんで俺に抱かれたんだ？
ふーっ
はぁっ
はぁっ
わ わかりませんよぅ… で でもこうしなきゃいけない
こうしたいって思っちゃったんですよぅ
後始末まで仕込まれてるのか？
処女なのに
ちゅぱっ
私 御子ですぅ… だ だから御子として生きなきゃいけません
で でもたまには本当のことを言いたくなってしまいますぅ…
…いいよ 俺が聞くよ
ちゅぽっ
聖騎士のお嫁さんになんかなりたくありません
あの人たちにとって私たちは道具なんです
ここにいれば巫姫様(サイネス)にもお姉さまにも愛してもらえます
それに… 会ったばかりなのにあなたにも…
んっ
んぐっ
魔性幻惑(ドミネイション)にかかってるのもあるにしても
あっさりヤれちゃったのはやっぱり聖騎士絡みの特殊な状況のせいだろう

なぁラナ
どうやったら
巫姫に会えるかな？
はー
…え？
ちょ ちょっと
待ってくださいよぅ…
まさか巫姫様に
お会いする気ですか？
…大丈夫だ
俺には潜入の
専門家がついている
なぁ
リン？
シュバッ
うおわっ！
き 気づいてたの!?
鈍いのか鋭いのか
わからないね
シード様！

くぅっ
姫様にはいらんことをしないように見張れと言われてたのに
あまりにするすると御子さんを抱いちゃうから止める暇がなかったよ！
姫様にはリンは精一杯頑張ってたって言ってね！
それはいいからリンも手伝え
ちょーっ待ったー！
巫姫猊下の所へ行くとか本気!?言っとくけど話が通じる相手じゃないよ!?
…そうなのかラナ？
たたぶんそうかとぉ…私も巫姫様にお目通りできたことはないんですがぁ…
えっ会ったことないのか？
巫姫様にお会いするどころかお顔を知ってる姉妹もほとんどいないですぅ
たぶんですけど多くて三人くらいかなぁ
ずいぶん少ないなでも巫姫がこの本殿にいるのは間違いないんだろ？

そ それは間違いないですぅ
巫姫様は本殿を出ることがないからこそ 誰もお顔を拝見したこともないわけでぇ
そうか でもラナも巫姫がどのあたりにいるか見当くらいはつくだろう？
よ 予想はくらいはできますけどぉ…本気ですかぁ？
本気なんですよ…命が惜しくないのかなこの野郎は
それと聖騎士を嫌ってる御子とかも教えてくれ
き 聞いてどうする気なんですかぁ…
ニヤッ

SEX

FANTASY

第18話
はうんっ…
そ そこは
触っちゃ…！
なんで私
こんな濡れてっ
クチュ
クチュ
んんうっ…
やっ あっ
痛っ…！
いっ 痛いのにっ
どうして私
こんな気持ちに…
あっ
そんなに
動いちゃ…！
うおっ！
ズプッ
ヌチャ
ヌチャ
ヌチャ
ヌチャ
急に
締め付けがっ
ああぁ…
こんなこと
いけないのに
どうして私
こんなに喜んで…
ビクンッ
ふああ…
た 垂れてきてる…

すごいよかった
おっぱい大きいし
中の具合も
最高だったよ
そ そんなこと
言わないでください…
やだぁ…
んちゅっ
おっきくて
お口に入り
きらないです
はっはぁっ
私たちなんで
こんなこと…
ビクッ
てした…
ふぁんっ
お お姉さまぁ…
私 ちゃんと
できてますかぁ…
ちゅっペロッ
ここは
本殿の祈りの間
なんでも
聖騎士との結婚が
決まっている子ほど
祈りの間での
お勤めを
志願するらしい
しかし…
本気でこんな
アホなマネを
するなんて…

あなた様のやることは本当に理解できないよ
リンは交ざらなくていいのか？
今それどころじゃないんだよ！
本気で巫姫猊下の所に行くつもりなんだよね!?
冗談じゃすまないんだよ バレたら首が飛ぶんだよ！
リンと話してるとよく死ぬだの殺すだのの話になるなぁ
あっ
がしっ
あなた様が命知らずなんだよ！
えー そうかなぁ
はっ また私ですかぁ？
人の話聞けやこらぁ！
ムギュ
あんっ

そうは言っても
気持ちいいし…
ラナも
喜んでるんだから
カァ…
よ 喜んでる
わけじゃ…
ああもう…
魔性幻惑使う
だけなら抱かな
くていいのに
こんなとこ
見つかったら
間違いなく
リンも死ぬ！
こんなに若くて
可愛いのに！
あっ
いあっ
はっあっ
んあっ
あんっ
やんっ
あっ
ああっ
ドピュッ
本当に悲観的
だなぁ リンは
はうっ…
もも う私の中
いっぱいなのに…！
ドピュッ
あっ 溢れ
ちゃう…！
ビクッビクッ
はぁ…
ま またいっぱい…
もう私…
聖騎士のお嫁には
なれませんよう
はぁっ
ビクッ ビクッ
そんな奴らの嫁に
なることはないさ
コポッ
コポッ

それじゃあ
そろそろ次いくか
うー やっぱり
続けるんだね
父様 母様
哀れなリンは
故郷を遠く離れた
異国の地で散る
みたいです…
俺たちはちょっと
特殊な方法で巫姫のところへ進んでいる
ううっ
本殿には
祈りの間が
あちこちにあって
それらを
伝うようにして
進んでいる
リンとラナに
案内してもらい
二人のどちらかに
注意を引いて
もらっている間に
御子たちに
魔性幻惑をかけて堕とす
という単純すぎる
手口だ

見張りを片づけながらならわかるけど性交しながらいくなんて…
俺は常に誰よりも先を行っている
続く人もいないよ！
ちゅぱ
ちゅぱ
いくら魔性幻惑があるからって無茶すぎるよね
言っておくが魔性幻惑に頼りきりってわけじゃないぞ
もう一度♡
ん♡
ここまでの祈りの間で魔性幻惑をかけたのは各部屋で一人だけ
その子を抱いている間にほかの子たちも俺に抱かれにきてくれる
今も御子たちは俺に抱かれているラナを羨ましそうに見ている
うず
うず
御子たちの身体はお姉様の〝教え〟によって開発済み
うず

ついでに聖騎士との結婚が決まっていて
言ってみればヤケになっている
ズッ
ズプ
ズプッ
ああっ あんっ
私の中でビクビクしてる…！
このまま出して出してぇ…！
あ ああっ
はぁ… シード様 こんなアホな方法なのは諦めるとして
巫姫猊下のところへ行ってどうするの？
さすがに巫姫さんの処女を奪うのはヤバいかな？
ビクッ
ビクン
そうじゃないかと思ったけどヤバすぎるわアホー！
そこのラナさん！巫姫猊下についての説明をどうぞ！
え 巫姫猊下の説明ってぇ…
あぁあ…“千年処女”のことですかぁ？

そこ！
その大事なところを
このアホ上司に
説明してあげて！
ビシッ
えーと
初代の巫姫様が
即位されてから
千年ほど経ちますけど
先代までの九十八人の
巫姫様は生涯清らかな
身を守り続けたと
言われてますぅ
千年？ そりゃ
でたらめだろ
あっ
またっ
男女のことだぞ？
巫姫がどんなに身持ちが
固くても信じられないなぁ
そりゃー
あなた様が
性欲の権化だから
信じられないだけじゃ…
若干 俺は
性欲高めだけど
それだけじゃないだろ
だいたい
女の子にだって
性欲はあるんだぞ
びくっ

いいえ…代々の巫姫様が
純潔を保ってきたのは
間違いないですよぅ?
あんっ
モミ
モミ
じ 実は…巫姫様の
継承の儀式の際に
純潔も確認される
ことになってるんですぅ
ズプ
ズプ
そのときには退位される
巫姫様も確認される
ことになっているので
…聖騎士団でも
知らない秘儀
なんですが…
えぐいこと
してるんだなぁ
この神殿
グレシア聖教で
処女が重要だとしても
わざわざ確認するとか
ちょっと狂信的
じゃないか?
うーん
それならそれで
変だな…
ふーっ
もしもその儀式
とやらに仕込みが
なくて
九十八人の巫姫が
全員純潔を保って
たとするなら
はっ
ちゅぷ
本人の意思だけじゃ
なくて ほかに仕掛けが
あるんじゃないか?
巫姫の処女を
守り続けた
仕掛けが
くちゃ
はっ

巫姫(サイオス)が…
俺を名指しで
呼び出したこととか
あっ
うず
これはなんとしても
巫姫(サイオス)様のお顔を
拝みたくなってきたな
美人なのかどうかとか
おっぱいの大きさとか
いろいろ気になる
ことはあったけど
うず
ズプッ
ぐらっ
ズプ
はは はう…
もう
立てないですぅ…
ガクッ
ガクッ
私もう
ダメェ…
びくっ
びくっ

ラナは結局
最後までついて
きてくれたな
さっき処女を
失ったばかりなのに
口唇奉仕も上手いし
中の具合もすっかり
俺になじんできて…
あー もう一回
ラナとやろうかなぁ
そんな場合じゃ
ないでしょ！
あー
まさかここまで
来ちゃうなんて…
いかにも最深部って
感じのところだよ…
もうリン一人で
脱出もできないよ
一人で逃げる
つもりだったのか
お前…
いつものことながら
忠誠心の
かけらもない
んんむっ…

お口の中でまた大きくなって…
んんっ
ちゅっ ちゅぷんっ
この御子は気に入って念入りに可愛がっちゃったな
肌が雪のように真っ白で可愛い
それで…巫姫の部屋はもうすぐなんだな？
くちゃ
しゃ
はっはい ですが…私たちもお部屋に入ったことはなくて…
ふうん…
んっ
巫姫の部屋はここから歩いてすぐの距離
ただ部屋の前には長い廊下があり身を隠す場所もないらしい

どうすんのシード様
その廊下は常に見回りも
いるみたいだし
そこを守っている
御子たちは武装している
んだよね？
……
巫姫の部屋前の廊下を
護衛している御子は
全部で七人
以前ここの御子が
うっかり廊下で花瓶を
割っただけで大騒ぎに
なったそうだ
ふーむ…
七人か…

姫兵じゃないみたい…というか
うちの姫様と同じく巫姫猊下は姫兵を持てないみたいだね
あっ リンでもまとめて七人は無理だからね
いや 廊下での慌ただしい乱交ってだけで燃えるのに
まだ七人の美少女とヤれると思うと興奮しちゃって困る
困るところがおかしすぎる！廊下の子たちともヤる気かぁ！コラァ！
あっ…ああ…まだお口の中に出してもらってないのに…
しかし部屋の前にいる七人も気になるけど意外とあっさり来られたよなぁ
ピキッ

あっさり!? リンがどれだけ
どれだけ苦労したと！
ガ
ガー
見回りと出くわさないようにルートを選ぶのがどれだけ大変だったか！
はいはい ちゃんと後でご褒美に抱きまくってやるから
それよりおかしいと思わないか？
それがご褒美なのかなぁ…
リン もしも無事に国に帰れたら絶対にお手当てを増やしてもらうんだ…
あぁ リンの目が死んでる やっぱりヤッて喜ばせないとダメだな
…そういえば少し聞いたことがあります
本殿…いえ 大神殿には偉大な守護者がいらっしゃって
巫姫様を千年間お守りされていると…

守護者？
それって巫姫の貞操を守ってるのか

大神殿を武力で守ってるのか
どっちなのかな

そこまでは知らないらしい

ふる ふる

守護者…
それが巫姫を千年守ってきた仕掛けか？

どうもこの大神殿はキナ臭いことが多すぎる

あっ

ガチャッ

はわわコ…!?

お？

こ これは いったい…？
そ その子たちは どうしちゃった のかな？
なんだキミは この辺りの 担当だったのか
そういやまだ 名前を聞いて なかったな
あなた この前の… ど どうして こんなところに…？
…え その子は 誰ですか？

巫姫様の護衛の御子ではありませんよね…？
このあたりで見たことがないんですけどあなたこそいったい
ボクは…その本殿がざわついているようなので見回りに…
…ああもう無理かな
こんなところまで来ちゃったら…
早すぎだよおに…いえシード・ネーキス様
うん？俺の名前を知ってるのか？

ほかの御子たちは
男が一人いることは
知っていたが俺の
名前までは聞いていなかった
この赤毛はいったい…
いや
そんなことは
別にいいや
キミやっぱり
メチャクチャ
可愛い！
ポワッ
ポワッ
真眼を発動
やはり
前に見た通り
難易度は0だ
スゥ・・

進行度も表示されているところを見ると魔性幻惑は通じないが…
その進行度は何もしていないのに完了している
か 可愛い…?この状況でそんなことが気になるの?
なるなる！よし細かいことはどうでもいいや！
もちろん祈りの間の御子たちも可愛いけど
この赤毛の子だけは正直なところ別格だ

さらさらの
赤毛
整った顔
美乳
縞パンツ！
思いがけない再会が
できたんだし
この機を逃す手はない
まずは
キミの名前をっ
!?
がしっ
！
はい
そこまでだ

今夜のバカ騒ぎも
もうおしまい
ご同行願おう
シード・ネーキス
名も無き
英雄の血を継ぐ
大馬鹿者よ
……っ!?
ババ
ババ
ゴポッ
ゴポッ
うおおおっ!?
ゴポッ
ゴポッ

ちゃぷん、
なんだ!? 地面に吸い込まれた!?
ゴポ
水の中にいるみたいだっ
ゴポ
ゴポ
ゴポ
しーどさまーあぶなーいどうしよー
まるで助ける気のない声…リンだな…
あの女覚えてろよ
……!
なんだ? この声…
……っ!
なんか懐かしい…

ごめん
…なぜか謝りたくなるこの声…
ああ赤毛の子か
ゴポ
ゴポ
……
不思議な懐かしさを感じる声だ
ゴポ
くそっあれだけの美少女なのに
また抱き損ねるなんて…
ゴボ
ボボ
ボポ
DL-Raw.Se

S E X
F A N T A S Y

ピトン
ピトン
うう…
……
地下か?
なんだここ
むく
第19話

大神殿の…本殿の地下か？
影に呑み込まれてすぐ気を失っちまったけど
どれだけの時間意識がなかったんだろう
ヤラッ
いやーな雰囲気だなこりゃ
スッ

うーん…
誰もいないな
たぶん
影に呑み込まれたのは
俺だけだったんだろうな
リンとラナ…
御子たちが無事なら
いいんだが…
ちぇ
せっかくの
巫姫のところまで
もう少しだったのに
いや
巫姫は後回しで
あの赤毛の子と
やりたかったのに
影に
呑み込まれたのは
別にいいけど
邪魔されたのが
腹立たしい
コツ
コツ
俺を引きずり込む
前に聞こえた声は
女の声だった…
さて
どうして
くれようか

何をされようが
女の子を力ずくで
なんてことはしないが
もしも犯人が
美人なら
過去のことは
水に流して
愛を教える
ことにしよう
正直
赤毛の子が可愛すぎて
まだ興奮が収まって
ないからなぁ
影に掴まれたとき
リンでも巻き込んで
おけばここでも
やれたのに
と 馬鹿なこと
考えてる
場合じゃないな
さっさと脱出して
赤毛の子にやらせて
もらわないと…
うん？
ガチャッ
うわぁ…
地下牢か
そんな気も
してたけど
最悪だな

俺 何も悪いことなんてしてないのになんでこんなところに来るハメに…
それに長い間使われてない牢屋って感じだな
ボロッ…
まぁ 巫姫がいる本殿に囚人を連れてくることもないだろうし…
もしかするとこの地下牢は本殿が建つ前からあったのかもしれない
最悪の場合地下への出入り口がそもそもないって可能性も…
まさか死ぬまでこの地下に閉じ込められるとか…
サーッ
それならせめて美少女をっ！
美少女を千人くらい連れてきてくれーっ！
スゥ…
DL-Raw.Se

ス…
ダメか…
リンの忠誠心にも
期待できないしなぁ
リーシャも俺が
いなくなったからって
大神殿じゃ
自由に動けないいか
もしかすると
今夜のちょっとした
乱行がバレるかも
しれないいし
そうすると
捜索どころじゃ
ないかもなぁ
コッ
コッ
となると
さっさと自力で
本殿に戻らないと
ああ
リーシャのこと
思い出したら
やりたくなってきた！
さっさと戻って
リーシャとイリヤと
ユンカとキュオ
五姉妹に御子たち！
みんな抱こう！
ダッ
ダッ
ダッ
ダッ

…数々御子たちに不埒なマネをしたくせに
無駄に絶倫だな貴様は
ん…？
バサッ
うお!?
この地下牢に落ちて真っ先に女のことを考えた大馬鹿は貴様だけだ
ガチャ
ガチャ

お初に
お目にかかる
シード・ネーキス

ふん
なるほど…
そのツラを見る限り
確かに貴様は
名も無き英雄の血を
継ぐ者らしいな
我が名は
シャーミィ・ベイトリ
あんたは…
くくく
貴様の怯える顔を
楽しむつもりだったが
予想もつかない
大馬鹿であったたな
ぐにゃ

ふん 不味そうだな
だが しょせんは
魔衣姫でも魔法使いでも
ないただの男
我が眼を
とくと見よ
ん!?
貴様ッ
なにをッ
んむっ!?
ちゅっ
んーっ

んっんんっ
ヤバい
びっくりするくらい
唇冷たいけど
それもまたいい！
んんんーっ!?
チロ
チロ
チロ
おおお
ゾクゾクする！
牙に触れてるだけで
背筋が凍るような
珍しい快感が！
んっ
んっ
んむむ…
ふぁっ！

いっ いきなり 何をするか!?
…はっ しっしまった 悪い つい我を忘れて！
ふーっ ふーっ
この状況で 我を忘れるなら 逃げないか 普通…
はぁ
貴様 頭が おかしいのか？
しかし 信じられぬ 我が眼を見ておいて〝魅了〟にかからんとは
いや かかっているのか？ ならば あんな無体なことなど できぬはずだが…

なんのことか知らんけど俺のほうが何かされてたのか？
どうやら良くも悪くも尋常の存在ではないようだな貴様は
この地下に引きずり込んだのは正解だったようだ
…ん？あんたはいったい何者なんだ？
ここの囚人じゃないのか？
くくく囚われの身と言えなくもないがな
ここは…かつてこの地にあった古城の地下に作られた牢獄
古城の主は千年以上の昔に滅び
その跡地に大神殿が築かれ牢獄は忘れ去られた
出入り口はないってわけか
はー戻るのが面倒くさそうだ

アホウか
貴様は
ここに
連れ込んだのは
逃さぬためだ
先に言っておくが
地上への出入り口は
完全に潰してある
もっとも
土砂を掘れば
脱出できるかも
しれぬがな
どのくらい
かかるんだ
それ？
そうだな
三月も不眠不休で
掘り続ければ
地上を拝むことが
できるだろう
そんな
バカな！
？
三か月
あんた以外の
女の子を
抱けないなんて！
俺に死ねと
言ってるのか!?

っ…！
誰が私を抱かせると言った⁉
死ねと言っておるのがわからんのか！
もういい 我が魅了が通じぬのなら
ガサッ
ガサッ
やはりこれしかあるまい
不味そうだが貴様のような馬鹿者をいただくのもまた一興よ
ゴポ
ゴポ
ああ 暴れても構わんぞ
好きなだけあがくがいい
ズザッ

バサ
お？
くくく
まるで木偶だな
……！
よくこの程度の身で
魔衣姫を手懐けようと
思ったものだ
まさか
恨むまい
グレシアの巫姫に
近づいた愚かさを
呪うがいい
おおっ!?
っ!!
これって
もしかしなくても…っ
ふん
やはり不味…

おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおっ!?
ゴロ
ゴロ
ぬコぬぬぬぬ…
ただでさえ
男の血は
不味いのに
お前の血は
毒を煮詰めて
濃縮したような
味だな!
これも
名も無き
英雄の力
いや
呪いじゃ
ないのか!
できれば
ほかのものを
飲ませたいんだが
ふーっ
ふーっ
血を吸われた
ことに動揺しろ!
人の血を
吸っておいて
注文が多い…
しかし
血を吸うってことは
やっぱり

吸血鬼(ヴァンパイア)
っ…
人の血を
糧(かて)にする怪物
その身を
コウモリや霧(きり)へと
変化させ
銀の武器以外では
決して傷つかず
太陽の光を浴びれば
灰になる者
話では聞いたこと
あったけど
本物の吸血鬼なんて
初めて見たよ
珍しさじゃ
ハーフエルフ
以上だよな
ふん
ハーフエルフ
なんぞと
一緒にするな

私はこの地上で
ただ一人の
夜を歩く者
月を友とし
血を代償として
永遠を生きる者
それで性交(セックス)は
いつできるんだ?
話を聞け!
今私がキメた
ところだろう!
ピキッ
話を聞くかは
わからんけど
喉のすべりがよくなれば
少しは話もするかもな
…吸血鬼に出くわして
飲み物を要求するような
馬鹿者がまだ
この地上にいたのだな
ついて来るがいい
我が居室に
案内しよう
さっ

トッ
トッ
ぴょいっ
……
ガチャリ
!

ふーん
ギュッ
ギコッ
で
いつになったら
幻術を解いて
もらえるんだ？
…ほう
よくわかったな
ただの木偶ではないのか
パチンッ
！

へぇ
いい部屋じゃないか
ちょっと
かび臭いけど
ここが地下で
あることに
変わりはない
それより
なぜ幻術に
気づいた？
ギシッ
ここに
来るまでの廊下も
この部屋も
足の感触が
石の床にしちゃ
柔らかいし
ギュッ
ギュッ
自分でも意識せずに
何かを避けるように
歩いてた
ひょいっ
家具とか調度品を
無意識に避ける
結界が張ってあるんじゃ
ないかってな
魔法使いでも
ないのに
妙に鋭い男よ

ま　幻術を仕掛けてあるのはこの部屋と周辺だけだがな
地下に引きずり込まれた者は怯えて幻術には気づきもせん
まさか鈍そうな貴様が気づくとはな
感覚だけは割と鋭いんだよ
鋭いほうが女の子の肌とかおっぱいとかの柔らかさを楽しめるからな！
ピンッ
ピキッ
……殺すか
あ　えーと…わざわざ幻術なんて仕掛けてたのは俺を脅すためか？
冗談なのに…
貴様だけではない浮かれた不心得者どもを誅するためだ
もしかしてあんたが巫姫を千年も守ってるのか？

くくく 守るだと？
私がそんなお人好しに見えるのか？
いやいや 巫姫を守護しているというのは その通りだがな
大神殿からの依頼を請けたというだけのことだ
もちろん代価はきっちり支払ってもらっている
代価…？
貴様のような馬鹿でも吸血鬼が好むものくらいは知っているだろう？
…処女の血か！
そうか そうか あんたも処女好きなのか 話が合いそうだな！
貴様と一緒にするな 一緒に！
そういう意味で処女を好むわけではない！

むしろ貴様のような男は敵だ敵！
むやみに処女を散らすケダモノだろうが！
なんだ 俺のことずいぶん知っているんだな
最近は初対面の人が俺に詳しくて変な気分だ
私にとって処女の血
代々の巫姫の血は極上のワインなのだ
ま ワインはワインで悪くはないがな
あまり吸いすぎるとせっかくの極上の血の持ち主が死んでしまうからな
人間とは儚いものだ
だからワインで我慢しているわけだ
それってとんでもないことじゃないのか？
キュポ
DL-Raw.Se

グレシアの巫姫にとって重要なのは純潔だ
少々血を吸われる程度で吸血鬼に身を守ってもらえるならいい取り引きであろう
コポ
コポ
むろん吸血されて吸血鬼や屍鬼になるということもない
俺は守ってくれなくていいから
別のモノを吸わせたいなぁ…
じー
こうして私は初代の巫姫の即位から千年ほど
ここで極上の血を吸いながらたまに湧いて出てくる不心得者どもを排除してきたのだ
あ 俺のお願いが流された
じー
……
しかし千年か…千年もこの地下で?

ま 簡単な仕事だ
百年ほど前にどこぞの国の最強騎士とかいう男が何を勘違いしたのか
巫姫の寝床に夜這おうとしよった
貴様と同じようにこの地下に引きずり込んでやったら半狂乱で逃げ回り始めた
一晩放っておいたら髪も髭も真っ白になっておったわ
解放してやったが恐怖のあまりに何も語らず国にも帰らずに姿をくらましたらしい
くくく 騎士などといってても一皮むけばこんなものよ
…つまりあんたは
ここに引っ張り込んだ奴らを殺してはいないってことか？

ほう
真っ先に
そこに気づくか
巫姫との約束は
奴の純潔を
守ってやること
ただし
〝無用の殺生を望まず〟
という条件がついたのだ
むろん
最後の手段として
なら殺してもいい
ということだな
俺がちょっと見ただけでも
この吸血鬼は神出鬼没
魔法に長けている
最強の騎士だろうが
あるいはエルフでも
勝てないかもしれない
それほどの
強さがあるのに
契約とやらに
縛られているのか

とはいえ
そもそも巫姫に近づく男など千年でそう何人もおらんかった
こうして部屋に招待してやったのは貴様が初めてだがな
ここまで落ち着き払ってる男も
いや俺 めっちゃあんたに興奮してるけど
怯えろと言っておるのだ！自信なくすだろうが！
まったく…なぜよりによってこの時期に
名も無き英雄の子孫なんぞがグレシアに現れるのか
いいや こんな時期だからか
はぁ…
自覚はあるのか貴様
貴様のおかげで魔衣姫を擁する国々にうねりが起きつつある

ワイン もらっていいか？
勝手に飲め！
最近国とか戦争とかの話をされると頭が痛くなるんだよな
……
ややこしい話は偉い人たちだけでやってもらいたい
面倒な話はごめんという顔だな
だったら貴様にもわかりやすく言ってやろう
キュポッ

この国の聖騎士どもは巫姫に代わって国を支配する気だ
……
ゴクゴクゴク
ぷはっ
とりあえずワインは美味い
どうせならもっと楽しい話を聞きながら飲みたかったなぁ
はぁっ…
コト…
——TO BE CONTINUED.

『セックス・ファンタジー』コミックスカバーイラストラフ集

コミックス第4巻

別案①

別案②

採用案

SEX FANTASY

ハーフエルフのメイド・イリヤの正体は、
グレシア聖教の密偵だった……！
だがシードには情交(エッチ)できれば密偵だろうと
関係なく、魔衣姫(まいひめ)たちと同じように愛を
伝えてイリヤも堕(お)としてしまう――。

それから間もなく、南方地域の平和に貢献したとして、
リーリャが位階を授かることになり、
シードも同行してグレシア聖教の聖都へと向かう。
きな臭い聖都でシードはどう動くのか!?

セックス・ファンタジー

SEX FANTASY

SEX FANTASY
4
セックス・ファンタジー
SEX FANTASY
maco
原作 鏡遊
キャラクター原案 しおこんぶ

VIP

セックスファンタジー 4

naco

原作 鏡遊

KAWA

SEX FANTASY

4

キャラクター原案 しおこんぶ

ヴァンプコミックス

セックス・ファンタジー　4

著者　maco
原作　鏡遊（かがみ ゆう）
キャラクター原案　しおこんぶ

2024年1月6日　発行
ver.001

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
ヴァンプコミックス『セックス・ファンタジー　4』
2024年1月6日　初版発行

発行者　山下直久
発行　株式会社KADOKAWA
https://www.kadokawa.co.jp/
編集企画　アライブ編集部

●お問い合わせ
https://www.kadokawa.co.jp/　（「お問い合わせ」へお進みください）
※内容によっては、お答えできない場合があります。
※サポートは日本国内のみとさせていただきます。
※Japanese text only

装幀・デザイン　稲子 靖[ERIDANUS]

初出　カドコミ2023年4月28日～2023年12月9日配信分